

new 新九郎通信



発行 小田原市栄町 2-13-3 (株) 伊勢治書店 3F ギャラリー新九郎 木下泰徳

師走を迎えました。今年もいろいろなことがありました。百年に1度の不況、連日メディアを騒がせる暗いニュース、そんな中で政権交代は、来年へのかすかな希望を感じさせてくれます。我が家では夫の定年、息子の結婚など大きな節目の年でもありました。新九郎通信も何とか発行が続けられ、皆様からのお声かけは励みになりました。新九郎アフター6も多くの方との出会いをいただき映画会、ワークショップ、美術史講座など広がりができました。新九郎ゆかりの作家さんをご紹介するアトリエ訪問では、画家さんの人となりをお伝えしアートファンを広げていきたいと思いました。会員の皆様の情報ももっともっと取り入れた親しまれる新九郎通信を目指していきます。会員の皆様もどうぞお気軽に、投稿や紙面づくりにご参加ください。



新九郎 12月の展覧会のご案内


会 期	展 覧 会 名	見 どころ
12/2(水)-12/7(月)	開成游刻会展	南足柄市、開成町、伊勢原市、秦野市、大井町から集ったメンバーによる 刻字・篆刻の同好会の展示会 (指導: 堀田玄鷲先生)
12/9(水)-12/14(月)	アトリエコネコ作品展	油彩・水彩画による絵画教室の作品展 指導: 藤本因子先生
12/11 (金) イベント	新九郎デッサン会	コスチューム、固定ポーズ 会費 1000 円
12/12 (土) イベント	地球交響曲がイシフォン-第三番上映会	出演 星野道夫、フリーマン・ダイン他 会費 500 円
12/16(水)-12/21(月)	新九郎アートフェスティバル2009	11名の作家による、新九郎恒例の一年を締めくくる企画展。油彩、水彩、木版画、エッチング、鍛金、陶芸。クリスマスプレゼントにおすすめ
12/19 (土) イベント	クリスマス・音楽の夕べ	出演者 カルテットS 入場料 500 円
12/26(土) イベント	新九郎アートワークショップ 石トラ	お正月飾りを作ろう! 会費 1000 円

近隣・友の会会員の展覧会情報

下千映子展 	11.21~12.6	すどう美術館
横山洋子展	12.9~27	すどう美術館
早川ユミ服とモンペ	12.12~20	うつわ菜の花
横田七郎版画大作展	12.17~26 12/23 休	国府津よりあい処
驢馬(ろば)展	12.2~31 火休	はげ八鮎
魅惑のトイカメラ写真展	12.1~1.31 日 12/30 1/3 休	ゾカテ-夢工房 MJC
広川英夫個展	11.15 日~12.26	カッパノヤ富夢野 

新アートフェスティバル 2009

クリスマス・音楽の夕べ

日 時 12月19日(土)
 会 場 ギャラリー新九郎 
 入場料 500 円 (茶菓付き)
 出演者 カルテットS
 澤田文代(バイオリン) 白井理恵子(バイオリン)
 神馬純江(ヴィオラ) 清水玲子(チェロ)

ようこそ平塚美術館

平塚美術館学芸員 勝山 滋

平塚市美術館では、12月8日から「祈りのかたち」と題した所蔵品展を開催します。

工藤甲人「須弥山(しゅみせん)」は、太陽と月の中心にそびえ、巨大な「金翅鳥」が住んでいるとされる、仏典に登場する聖山を描いています。おぼろげにセピア調で描かれた画面はボッシュやブレイクに学んだ幻想性が表われ、これまでの伝統的な日本画とは一線を画しています。1935年に青森に生まれ、平塚に住む工藤は、こうした戦後の日本画の思想をリードする重鎮の一人といえます。

工藤甲人 須弥山(しゅみせん)



アトリエ訪問 第2回

ぼくぼく 橋本樸々 小田原 根府川在住



樸々さんの作品を初めて見たのは新九郎「禅の書画展」だった。正面にかけられた迫力のある100号の抽象画だ。色彩の美しさ、モダンさ、他を圧倒する存在感、大変インパクトを受けた。これを描かれた方が80歳を超えていると聞き、そのエネルギーと瑞しい感性に画家の凄さを知った。2010年新九郎スタートの個展は、その橋本樸々さんの個展でスタートする。先日準備にアトリエを訪ねるという木下について、

アトリエは兼自宅は相模湾を、見下ろす根府川の小さな丘の上で建てた。下から上る私道は美しなく手入れが楽しめられる。草花が咲き、群生、コスモス、水のコスケッチが美しい。お電話もポカポカお話しが出来る。お声かけお待ち。景色を眺め、海、山、緑、整頓されている。手と何々さんが、音があつた。おら上るが草々暮といッなや

ったのだ。はじめはお目にかかっ
た橋本さんは大変小柄で柔和な
まては。玄閑の壁、床には所狭し
とキャンバスが置かれ、長い充
とした画業が一瞬で見るとれた。
して広いとは言えない座敷に。案
され座布団と大ぶりの茶卓に古
万里の湯のみに火鉢でわあ松
坂屋の「茶のし梅」のお茶受け
てなして下さった。新九郎通信
取材のこをお話すると快くお
返事下さり、2, 3枚の写真も撮
らせていただいた。



壁に小品ながらピリッとした作
品が掛っていた。里見勝蔵の作
であつた。絵ではない。ここには
覚悟で移り住み、40年になるだ
とにこやかに話された。そして
絵をとお話し下さい。黄金に輝
った一人立ち、孤独にくと作品
が大変幸福で、ふと気がつくよ
うな話だ。もう一度描いている
か。うな話だ。もう一度描いて
二度と現は神の手によるもので
のこの話は大変納得がいった。

いよいよ作品選定が始まった。
部屋の壁には膨大なスケッチブ
ックが年代別タイトル別に整理
されていた。中身はコラージュ
モチーフは身の回りの自然、庭
の草花に海、風景、生きものが

かな切り紙で表現されていた。こ
の和紙は高知の手きり紙で「江
より取寄せて1冊がといても重
と教着され1冊がといても重
「うわー」「きれいな」「こ
れ何ですか。」驚きの連続で興
る私のかせるで、業のこと作
間の上を丁寧に見て選んだ。30
離すと手間は手スぺースにビ
は床の間の重ねられまうとた
保護されて重たしなうとた
解き見ている作業さといった
根気のは私には感じない作
手「これは弱い」と言っ外し
った。樸々さんの自信はな
にあってたのだ。作品をた
見せても忘れなげな
の経つたも忘れなげな
きには快い疲労があった。

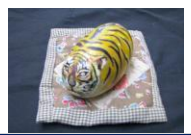
画家は多くを語らざるに思
いる。この物艶やしら企に
作す印象は、艶やしら企に
変わる話。艶やしら企に
がささ作品は多く、樸々
そし制作を

木下和子



新九郎アートワークショップ2009

お正月飾りを作ろう! **石トラ**
日時 12月26日13時から16時
場所 ギャラリー新九郎
講師 広川英夫(新九郎友の会会員)
定員 20名(大人のみ・子供同伴可)
会費 1000円
申込先 木下090-9324-4084



十一月のこと
◆今月は書、水墨画、油絵、陶芸と教室
の作品展が続き、毎年隔年4年と
開催はさまざまですが、皆さん精一杯
取り組んで仕上げた作品はすばらしく
見応えがあり、来場者も作品を
さんで会話がはずむ姿に皆様の喜び
が伝わってききました。続けるのは苦
もあるかと思いましたが、積み重ねて
られるものは大きいと思います。次
の開催が今から楽しみです。
江之浦に写真表現で世界的評価を得
ている現代アーティストである杉本博
文化財団芸術文化施設建設が計画さ
れていいます。市に確認したところ、二
〇一〇年から具体的動きとなる。舞
台と屋外鑑賞スペースが建設され、能
成すれば杉本氏の活動拠点となり、地
域活性化にもつながる。島市でも期
作品は、この夏、直島でも、杉本博
舞台が長崎町クレマチスの丘の
駿東郡長崎町クレマチスの丘の
PHOTO MUSEUMで開館展「杉本博
司一光の自然」を開催いたします。氏
は近年の建築プロジェクトに、関
どその活動の幅を広げています。氏
自らが手がけた初の美術館に、開
作の展示となつていきます。